

令和2年1月

検体検査実施料新規収載のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび令和元年12月27日付厚生労働省保険局医療課長通知「保医発1227第3号」にて、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」（平成30年3月5日付け保医発0305第1号）が改正され、令和2年1月1日より適用されることとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

（記）

■ 実施料が新規収載された項目

点数区分	検査項目名	検査方法	実施料	判断区分 判断料	備考
D006-6 免疫関連遺伝子再構成					
	JAK2 遺伝子検査	アレル特異的定量 PCR(AS-qPCR)法	2504	血液 125	※

- ※ ア JAK2 遺伝子検査は、区分番号「D006-6」免疫関連遺伝子再構成の所定点数を準用して算定する。
- イ 本検査は、骨髓液又は末梢血を検体とし、アレル特異的定量 PCR 法により、真性赤血球増加症、本態性血小板血症及び原発性骨髓線維症の診断補助を目的として、JAK2V617F 遺伝子変異割合を測定した場合に、患者1人につき1回に限り算定できる。
- ウ 本検査、区分番号「D004-2」悪性腫瘍組織検査「1」の悪性腫瘍遺伝子検査、区分番号「D006-2」造血器腫瘍遺伝子検査又は区分番号「D006-6」免疫関連遺伝子再構成のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。

以上

No. 20-01